

教育協力 NGO ネットワーク（JNNE）2021 年度事業報告、2022 年度事業計画

活動分野	事業報告(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)	事業計画(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)
情報交換・ネットワーク	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体会員数は 20 団体(1 団体入会し、1 団体退会)、協力団体会員数は 3 団体。 2. 会員 ML を通じて情報交換を行った。 3. 広島大学 CICE 発行による『Global Education Monitoring Report 2021/22 サマリー日本語版』の編集に協力した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体会員の増加を図る。 2. 会員 ML を継続する。 3. GCE、ASPBAE のメンバー団体として情報交換を行い、活動に協力する。 4. 広島大学 CICE 発行による『Global Education Monitoring Report 2021/22 サマリー日本語版』のローンチイベントを開催する。広島大学 CICE 発行による『Global Education Monitoring Report 2023 サマリー日本語版』の編集に協力する。
調査研究	<ol style="list-style-type: none"> 1. JICA 研究所調査研究書籍「日本の国際教育協力—歴史と展望」の英語版の出版に協力した(2022 年 4 月 2 日に Springer より出版)。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. なし
能力強化	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急下の教育勉強会を 1 回開催した。ECW の大島氏から ECW について、WVJ から南スーダンの教育支援事業について発表をした。 2. 緊急時の教育の最低基準（INEEMS）のオンライン研修のモジュール案を開発した（ECW 助成事業、SVA が主導） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急下の教育勉強会を 2 回開催する（ECW 助成事業、WVJ が主導）。 2. 緊急時の教育の最低基準（INEEMS）のトレーナー養成研修を 1 回、オンライン研修を 3 回実施する（ECW 助成事業、SVA が主導）
政策提言・キャンペーン	<ol style="list-style-type: none"> 1. DEAR が事務局となって SDG4 教育キャンペーンを 4 月から 9 月に実施した。政党アンケート結果を受けてのオンライン投票には、全国から 3,896 名の子ども・ユース・市民が参加し、日本の教育と教育援助に関する多くの提言が寄せられた。子ども・ユース代表が 5 党の 10 名の国会議員と財務・外務・文科省の高官と面談し、提言活動を行った。 2. 「SDGs 市民社会ネットワーク」に参加し、教育ユニットの世話人を務めた。7 月の SDGs 閣僚級会合で発表された日本の「SDGs スポットライトレポート 2021」の SDG4 についての節を DEAR と共に執筆した。また ASPBAE の要請により上記報告の英語版を作成した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. SDG4 教育キャンペーンを 4 月～9 月に実施する（ECW 助成事業、DEAR が事務局）。 2. GPE および ECW への拠出増額、G7 サミット、学校保護宣言、第 7 回国際成人教育会議（CONFINTEA VII）についての政策提言を行う。

	<p>3. 第7回国際成人教育会議（CONFINTEA VII）に向けて、文科省に対して会議の成果文書に関する提言を行った。9月に開催されたアジア・太平洋地域準備会合に参加し、成果文書へのインプットを行った。DEARが2月に主催したフォーラム「社会教育・成人教育の課題と展望」に協力した。</p> <p>4. ECWのニューズレター日本語版を5回関係者に配信した。ユースと国会議員との意見交換会を政党別に3回行った（ECW助成事業、SCJ主導）。</p> <p>5. Global Campaign for EducationのG7教育作業部会に参加した。</p> <p>6. 日本のアフガニスタンへの教育支援の拡充についての提言を外務省に提出した。JANICのアフガニスタンワーキング・グループに参加した。</p> <p>7. 外務省が1月に主催した「国際教育協力連絡協議会」に参加した。</p> <p>8. 紛争下の教育の保護をテーマにした写真展を開催した（ECW助成事業、SCJ主導）。</p>	<p>3. 「SDG 市民社会ネットワーク」に参加し、教育ユニットの世話人（国際課題担当）を務める。</p> <p>4. ホームページをリニューアルし、SDG 4関連文書の情報提供を行う。</p> <p>5. 緊急時の教育、ECWについてのニューズレター、ブリーフィングEニュースの発行、フォーラムの開催、ロビイングなどの啓発、提言活動を行う（ECW助成事業、WVJ、SCJが主導）。</p> <p>6. 2023年に日本がG7をホストするにあたって、G7市民社会コアリション（仮称）に参加する。</p> <p>7. 外務省主催の国際教育協力連絡協議会に参加する。</p>
--	--	--

2022年度 事業実施スケジュール

2022年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月
<p>■緊急時の教育勉強会</p>	<p>■総会 ■INEEMS トリ研修</p>		<p>■INEEMS 研修</p>	<p>■緊急期の教育勉強会</p>	<p>■INEEMS 研修 ■ECW シンポジウム</p>		<p>■INEEMS 研修</p>		<p>■国際教育協力協議会（外務省）</p>		
		<p>■第7回国際成人教育会議（6/15-17） ■G7 サミット（ドイツ）（6/26-28）</p>	<p>■国連 HLPF</p>		<p>■国連総会 ■Transforming Education Summit</p>					<p>■ECW 増資会合（ジュネーブ、2/16-17）</p>	